

平成26年度 滋賀県がん診療連携協議会・第2回診療支援部会 議事概要

- 日時** 平成26年10月15日(水) 18時00分～19時15分
- 場所** 滋賀医科大学医学部附属病院 D病棟1階 多目的室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院(部会長:安藤消化器内科診療科長)、滋賀県立成人病センター(嶋田主査)、大津赤十字病院(副部会長:土井副院長)、彦根市立病院(来住診療局主任部長)、市立長浜病院(伏木放射線科責任部長)、草津総合病院(中洲脳腫瘍治療科部長)、済生会滋賀県病院(重松消化器内科 副院長(代理:石井))、近江八幡市立総合医療センター(石川消化器内科部長)、滋賀県歯科医師会(松井公衆衛生部会副部長)、滋賀県看護協会(三上専務理事)、滋賀県放射線技師会(山田理事)、滋賀県病院薬剤師会(寺田会長)、滋賀県歯科衛生士会(山本監事)、滋賀県放射線治療連絡協議会(芥田会長)、滋賀県健康医療福祉部(鈴木健康医療課がん・疾病対策室 主席参事、奥井がん・疾病対策室副主幹)
- 欠席者** 【部会事務局】滋賀医科大学医療サービス課(小林課長、浅井課長補佐)
滋賀県立成人病センター(副部会長:川上副院長)、公立甲賀病院(井田顧問)、大津市民病院(青木副院長)、長浜赤十字病院(駒井消化器内科部長)、東近江総合医療センター(来見副院長)、滋賀県医師会(中野草津栗東医師会副会長)、滋賀県薬剤師会(中嶋介護福祉委員会委員)
- 【準部会員】滋賀医科大学医学部附属病院(醍醐腫瘍センター長)

1. 議題

(1)平成26年度の取組の進捗について

各病院の専門性を生かした分担のための機能調査

拠点病院が毎年提出している現況報告の各項目を支援病院も含めて本協議会のホームページに掲載して一般の方が閲覧できるようにしようということを目的として進めているものである。

皆様にメールで現況報告各項目を選択していただくよう送付したが、まだ回答をいただけていない施設もあり、回答をいただいている各施設の選択項目を取りまとめた資料により議論をした。

- ・がん患者団体連絡協議会に照会して意見をいただいております。
- ・診療実績は、数を掲載するのではなく診療機能を持っているかどうかの判断ができればよいと思うので数は掲載しなくてもよいのではないか。
- ・専門性を生かした分担のための機能調査ということなので、多少、病院ごとの棲み分けに繋がっていくような部分があってもいいのかな、しかしあまり差別化につながってはとも思える。
- ・項目は一般の方が閲覧するものであるため、専門的で詳細なものまでは載せない方がよいと思える。
- ・他県でこのような取り組みが進んでいるところの事例を参考にしております。
- ・項目選択に苦慮されて、まだ回答をもらえていない機関があるので、全て回答が揃ってから項目選択するべきではないか。

以上より、次回までに、回答をいただけていない施設に督促をして提出していただき、継続議論のうえ決定することとする。また、先行している他県の状況の公表資料を次回の部会資料として準備することとする。

(2)がん情報サイト(仮)について

滋賀県から、がん情報サイト開設の進捗状況等について次の説明があった。

滋賀県がん情報サイトに関して、広島県、青森県のサイトのような、県民に対して親しみやすい

見やすいわかりやすい情報を提供する必要があるということで、計画をしてきた。この件に関して、予算をどうするかとか、どういうところと協力関係を結ぶかとかいろいろ議論を重ねたが、本年度300万円の予算を確保いただき、内容に関しても 病院の強み(機能)紹介、放射線治療協議会、がん患者団体HPもこのサイトからリンクさせ、包括的な方向で考えて、今年度中に立ち上げるということを目途に県を中心として作業を進めている。

- ・内容については、適宜、情報を更新出来るようなホームページにすること。
- ・県のホームページなので、それなりのルール(一定の縛り)があること。
- ・予算は、300万円、ページ数で換算すると100~200ページ程度。あまり多くなると、予算も膨れるし、見にくくなる。
- ・業者の委託方式は、プロポーザル方式(ある程度の仕様を定めて、提案書を出させ、委託業者の選定会を開いて業者を決める。)ここまでのスケジュールを10月末と考えている。
- ・業者の選定会に関しては、診療支援部会長(安藤先生)、協議会事務局(嶋田様)、県健康医療課(鈴木先生外)で選考していく。
- ・業者に、ざっくりした仕様を示さなければならないので、たたき台として、がん情報サイト サイトマップ(案)を作成したので、時間はあまりないが、本日から1週間程度で部会員の皆様の意見を出していただきたい。
- ・具体の詰めは、本年末から開催予定の検討会で行うこととし、検討会のメンバーは、診療支援部会長(安藤先生)、協議会事務局(嶋田様)、県健康医療課(鈴木先生外)、企画運営委員会(沖野先生)、診療支援部会(芥田先生、伏木先生)および場合によっては、がん患者団体連絡協議会をオブザーバーとして呼び出して作りあげていき、3月末に完成予定とする。

詳細について次の説明があった。

- ・県のホームページ(サーバー)でサイトを作る。
- ・イメージ的にホームページを開くと、第1階層として大項目のボタンが配置されていることになり、この大項目は一度決定すると修正が困難であるので、項目決定は注意を要することを意識していただきたい。
- ・中項目もトップにボタンを配置するならば同様に項目決定は注意を要することになるので、このあたりを念頭に置いて検討していきたい。
- ・一般的にホームページには、一般の方用と専門用があるが、県のホームページなので一般が対象となる。情報をもう少し詳しく知りたい方用には詳細をクリックして見られるように考えたい。
- ・リンク先は各団体に原稿を作っていただき見られるようにしたい。

(3)各団体の取組予定について

(滋賀県病院薬剤師会)

拠点病院の病院薬剤師向けにいろいろな症例をベースにした研修会を、5月、7月、9月に開催している。また、調剤薬局向けの研修会を今年度2回行っており、すそ野を広げるといった意味の研修を行っている。

(滋賀県看護協会)

教育計画の中にがんを位置付けており、年間でそれほど多くはないが、研修会を開催している。

現在のところ1講座或いは2講座が済んだというところで、まだ後半があるという状況にある。

(滋賀県放射線技師会)

例年通り3回の研修会を行っている。

第2回を11月9日に開催する予定になっている。第3回は市民公開講座としてピアザを会場に2月頃に開催予定になっている。

(滋賀県歯科医師会)

全国共通のがん医科歯科連携DVD講習会が年間3回行われ、現在2回開催されて、第3回は

年明けに開催される予定になっている。

(滋賀県歯科衛生士会)

前年度と同様に各種研修会等への参加、衛生士会としてのがん診療研修会は3月に実施予定をしている。

(滋賀県放射線治療連絡協議会)

年2回の連絡協議会及び勉強会を開催している。前期は大津赤十字病院で実施し、後期は東近江総合医療センターにお願いしている。

県内で開催されるがん診療に関する講演会等の協賛、後援を随時行っている。

(4) PDCAサイクルの指標について

前回の本部会で、今回立ち上げるがんの情報サイトを充実させていくために、一般の方が見て、わかりやすい、理解しやすい ということろを評価していただくということで、サイトに5段階程度のアンケート評価ができる仕組みを作りその評価項目を数値化したものを指標にすること、評価項目については今年度中に検討しようという話合われた。

前回の話し合いに引き続いた議論をし、次の意見が出た。

- ・本部会の努力目標なり実績として、がん情報サイトがいかに見やすいか有意義かによってサイトを作り直したりすることがこの部会として正しいことであるのなら、とてもよい数値目標だと思うが、少し違うかなと思える。
- ・各所で実施されている研修等について診療支援部会としてバックアップしていくこととしてはどうか。
- ・病院間の役割分担とか連携とか何かをした実績とか数値化できるものがあればよいのだが。
- ・東近江圏域で予定されている公開講座の開催も、先日開催した県民公開講座も、ある意味診療支援であると思うが、部会全体のアクションプランと考えると数値化するのはなかなかさそうである。なにか、がん情報サイト以外で一つあればよいかなとは思っているが。
- ・研修調整部会は本来どのような研修をやっていくか通年でテーマを決めたりしていくものであるが現状はそこまでできていないところがある。研修調整部会が中心となって企画されるセミナー、シンポジウムなどを診療支援部会として半年に1回程度バックアップしていくなどはどうか。
- ・湖西医療圏では今年度、高島市民病院が地域がん診療病院に指定され、グループ先が大津赤十字病院になっている。一つの案として、診療支援部会で企画して出前講座、研修会等を地域がん診療病院指定記念講演会として計画してはどうか。
- ・それがよいとも言えないが、その参加人数を数値化するというのも一つの案ではある。その他に関しては、この部会の性格上難しい。
- ・ホームページができれば、各ページの閲覧数をカウンターで出せると思う。アンケートを取るとするのは、滋賀県のホームページの一方からの情報発信の性格からどうなのか。
- ・SNSとかFacebookとかの機能はつけないという意味での一方向という意味なので、アンケートなりカウントは問題ないと思う。
- ・過去には各病院が医師の派遣をどれくらい受けたかを数値化しようとしたが、なかなか難しかったという記憶がある。

以上の議論をふまえて、部会長から、最初に話が出たホームページのアンケートで評価を取るというのは一つの案であって、今すぐにここで決定することは困難であるため、さらに皆様からご意見を頂いて検討していきたいと考えているので、提案があれば連絡いただきたい旨依頼した。

